

経営比較分析表（令和5年度決算）

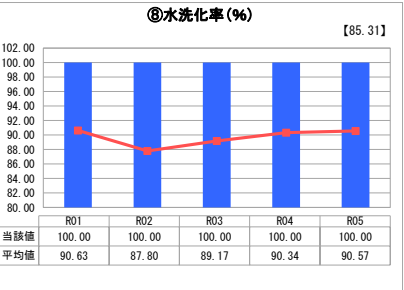
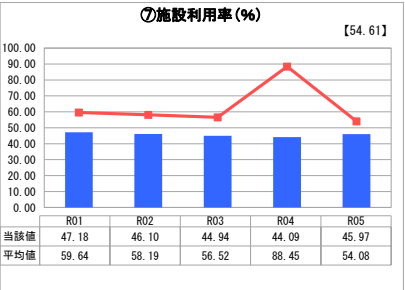
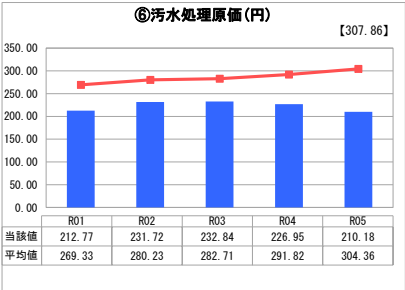
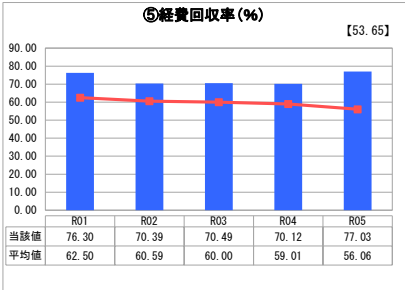
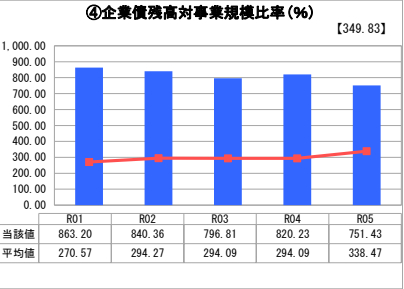
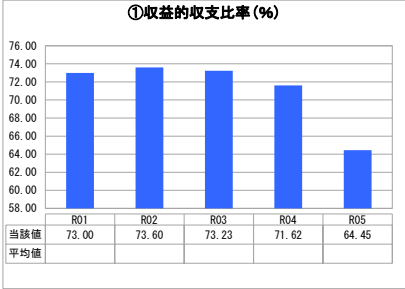
千葉県 長柄町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	25.38	100.00	2,750

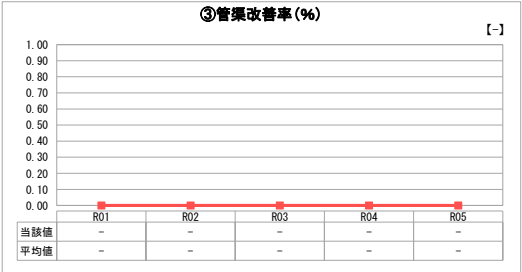
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,316	27.50	229.67
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,596	46.59	34.26

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率について、数値が100%未満であり、一般会計繰入金で補填している状況である。更なる浄化槽修繕費の削減、修繕費等に充てる財源の確保など経営改善が必要である。
⑤経費回収率について、数値が100%未満であり、汚水処理に係る費用が使用料以外の収入により賄われている状況である。適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減が必要である。
⑥汚水処理原価について、当団体は横ばいとなっており、また類似団体平均以下である。明確な数値基準はないと考えられるが、置かれている状況を把握し、経営改善を図っていく必要がある。
⑦施設使用料について、当団体は横ばいとなっており、また類似団体平均以下である。明確な数値基準はないと考えられるが、置かれている状況を把握し、経営改善を図っていく必要がある。
⑧水洗化率について、当団体は100%である。今後も維持してことが重要である。

2. 老朽化の状況について

管渠について、維持管理は個人負担であり、当団体では把握はしていない。
浄化槽本体について、平成16年度の事業開始から現在20年目となるが耐用年数を超えるものはない。また、経年劣化等による部分的な破損が見られるものについては、その都度修繕を実施している。老朽化に対して具体的な対応計画は作成していないが、今後必要に応じて作成を検討する。

全体総括

人口減少は今後も見込まれるが、新規設置基数による使用人数の増加と使用水量の微増は望まれる。また、経年劣化による修繕費の増加も見込まれる。使用料金の改定等を実施し、経営改善を図っていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。